

講義名	教養特講Ⅰ（東洋史）		
科目区分	教養特講		
担当教員	小野 達哉		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学科/2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/2020年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
<p>10世紀から19世紀にかけての中国は、伝統中国あるいは近世中国と呼ばれ、現在までつく社会・文化の原型が形作られた時代である。この講義では、こうした中国伝統社会のあり方について、まず第一に社会・経済面から、第二に政治・文化面から学んでゆく。またこれに加えて、中国は経済的・文化的な先進地域として、周辺諸国との交流を通じ、東アジア文化圏を長きにわたって形成してきた。この講義ではさらに、東アジア諸国に中国の制度・文物がどのように受容されたのかという点から、対外関係の枠組み・文化交流のあり方についても学ぶ。これらの講義を通じて、学生諸君には最終的に、中国がどのようなタイプの近代の方向に向かってゆくか、そのイメージまで、掴んでもらいたいと考えている。</p>

到達目標
<p>①中国史の基本事項について理解し説明できる。 ②東アジア史上の文化交流について理解し説明できる。 ③中国的伝統のあり方について理解し説明できる。 ④中国の近代化像について理解し説明できる。</p>

提出課題
<p>毎回授業時に実施する小テスト</p>

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
<p>毎回の授業時におこなう小テストで、学生の講義の理解度を確認し、それに必要に応じてコメントを付して返却するつもりである。</p>

評価の基準
<p>毎回授業時の平常点と、まとめテストの総合評価とする。</p>

履修にあたっての注意・助言他
<p>この講義は予備知識は必要としないので、その点は安心して受講してくれてよい。ただし、東洋史に限らず、日本史・西洋史など歴史全般に関心を持ってもらいたいと思う。</p>

教科書
<p>・使用しない。</p>

プリント資料及び参考文献
<p>講義ではプリントを使用する。参考文献は授業時に随時指示する。</p>

授業計画
<p>【第1回】 テーマ：伝統中国の原型① 内容：中国史における南北 【第2回】 テーマ：伝統中国の原型② 内容：農村の長期的変化 【第3回】 テーマ：伝統中国の原型③ 内容：都市と商業の成長 【第4回】 テーマ：伝統中国の原型④ 内容：経済発展のパターンとトレンド 【第5回】 テーマ：伝統中国政治の原型① 内容：科擧と士大夫社会 【第6回】 テーマ：伝統中国政治の原型② 内容：皇帝と統治システム 【第7回】 テーマ：伝統中国政治の原型③ 内容：皇帝と官僚・軍隊 【第8回】 テーマ：伝統中国政治の原型④ 内容：士大夫の社会と文化 【第9回】 テーマ：対外関係と文化交流① 内容：朝貢と互市①朝貢の概念 【第10回】 テーマ：対外関係と文化交流② 内容：朝貢と互市②互市の概念 【第11回】 テーマ：対外関係と文化交流③ 内容：朝貢体制と朝鮮・琉球・ヴェトナム 【第12回】 テーマ：伝統中国の変革① 内容：開港と対外貿易</p>

授業形態（アクティブ・ラーニング）
<p>ア：PBL（課題解決型学習） イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） ウ：ディスカッション、ディベート エ：グループワーク オ：プレゼンテーション カ：実習、フィールドワーク</p>

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>【第1回】 ①予習：シラバスを熟読する（30分）。 ②復習：レジュメと史料の内容を確認する（90分）。 【第2回】 ①予習：前回の講義時に示したキーワードを辞典等で調べる（90分）。 ②復習：レジュメと史料の内容を確認する（90分）。 【第3回】 ①予習：前回の講義時に示したキーワードを辞典等で調べる（90分）。 ②復習：レジュメと史料の内容を確認する（90分）。 【第4回】</p>

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
<p>授業は学生に随時発問しながら進めるが、特段ICTを活用することはない。</p>

実務経験の有無及び活用
<p>なし</p>

備考
<p>なし</p>